

シリーズ名：法医学

月 日	曜 日	時 限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
4.23	火	I	法医学概論	向井 敏二	法医学	1. 医学の分野における法医学の位置付け 2. 法医学の対象とその役割	・医学生が法医学を履修することの意義を考える。
"	"	II	早期・晩期死体現象	"	"	1. 早期死体現象 2. 晩期死体現象 3. 死体現象に基づく死亡時刻推定	・死体に生じる死後の諸変化につき医学的観点から推定する。
5.7	"	I	創傷総論	"	"	1. 損傷所見の具体的表現法 2. 生活反応（局所性・全身性） 3. 自為損傷・他為損傷の鑑別	・「自ら形成した傷」と「他人につけられた傷」との相違点を考える。
"	"	II	鈍器損傷	"	"	1. 開放性損傷（創）と非開放性損傷（傷）の相違 2. 挫創・裂創・挫裂創の所見および成傷機序の相違点 3. 皮下出血・表皮剥脱・圧迫痕の所見および成傷機序	・講義資料を通読する。
5.14	"	I	銃器損傷	"	"	1. 銃器の種類と特徴、各種銃器の相違点 2. 刺創・切創・割創の所見および成傷機序の相違点	"
"	"	II	銃器損傷	"	"	1. 拳銃・散弾銃の構造および銃器損傷の特殊性 2. 射入口・射出口の所見および鑑別 3. 射入口所見に基づく使用拳銃の口径・射撃距離の推定	"
5.21	"	I	頭部損傷	"	"	1. 頭部損傷による死のメカニズム 2. 脳挫傷の成傷機序 3. 各種外傷性頭蓋内出血の成傷機序と診断上の留意点	・頭部損傷死のメカニズムを考える。
"	"	II	交通事故損傷	呂 彩子	法医学	1. 成傷機序からみた損傷分類と特徴 2. 損傷所見に基づく成傷機序の推定 3. 交通事故関連の処罰法（危険運転致死傷罪等）	・車両の種類によって形成される損傷の違いを考える。
5.28	"	I	窒息 I	"	"	1. 窒息の定義 2. 内窒息・外窒息の相違点 3. 窒息の発生から死に至る病態生理 4. 外窒息の分類	・窒息にはどのような種類があるかを調べる。
"	"	II	窒息 II	"	"	1. 頸部圧迫による窒息死のメカニズム 2. 頸部圧迫の種類（絞死、絞死、扼死）と特徴的所見 3. その他の窒息（気道閉鎖・気道内異物、溺水吸引、胸部の圧迫、酸素欠乏等）の発生機序と特徴的所見 4. 生前溺水による窒息死体と死後水中遺棄死体の鑑別 5. 乳幼児突然死症候群（SIDS）の定義と疫学的特徴	・頸部圧迫による窒息死のメカニズムを考える。
6.4	"	I	中毒 I	"	"	1. 中毒の定義および分類 2. 中毒例の症状および死体所見 3. 中毒例における薬毒物分析の概要	・過去に報道された中毒死亡例を調べる。
"	"	II	中毒 II	"	"	1. 中毒（死）をきたす各種薬毒物の毒性・症状・検査法 2. 主な乱用薬物の作用機序・症状・依存性 3. 乱用薬物を規制する法規（薬物四法・医機法・毒劇法） 4. 乱用薬物に関する医師の義務および規制事項	・乱用薬物の種類と問題点を調べる。
6.11	"	I	児童虐待	向井 敏二	法医学	1. わが国における児童虐待の概要 2. 虐待防止法に基づく医師の役割 3. 虐待の分類および各々の概要 4. 身体的虐待における特徴的所見 5. 本学虐待防止委員会（MCAP）の活動	・悲惨な「虐待死」が後を絶たないのは何故かを考える。
"	"	II	家庭内虐待	"	"	1. 高齢者虐待に関する法律とその現状 2. ドメスティックバイオレンス（DV）に関する法律とその現状	・高齢者虐待・DVが発生する背景は何かを考える。

シリーズ名：法医学

月日	曜日	時限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
6.18	火	I	異常環境による障害	呂 彩子	法医学	1. 低温・高温環境による障害および特徴的な剖検所見 2. 火災による死亡のメカニズム 3. 火災現場発見死体の生前受傷と死後燃焼との鑑別 4. 電気・気圧・放射線などによる障害の特徴と身体所見	・ヒトが死亡し得る異常環境にはどのようなものがあるかを考える。
"	"	II	嬰兒死体	向井 敏二	法医学	1. 嬰兒の身体特徴と成熟度 2. 生産および死産の概念 3. 嬰兒の死体所見 4. 生産・死産の鑑別 5. 出生後死亡までの経過時間推定	・「出生後に死亡した児」と「死産児」を鑑別する方法を考える。
6.25	"	I	物体検査	千葉 正悦	法医学	1. 法医学鑑定における試料の取り扱い 2. 血液（血痕）検査法 3. 体液（精液、唾液、尿等）検査法 4. 指紋の顕出法	・講義資料を通読する。
"	"	II	個人識別総論	"	"	1. 個人識別の意義と重要性 2. DNA型による個人識別法 3. 硬組織による個人識別法 4. 各種生体認証法の概要	・最新の生体認証法には何があるかを調べる。
7.2	"	I	硬組織による個人識別	網干 博文	日本大学	1. 白骨鑑定（性別判定・年齢推定・身長推定） 2. スーパーインポーズ法 3. 歯牙の萌出順序と年齢の関係 4. 歯牙の退行性変化 5. デンタルチャート	・講義資料を通読する。
"	"	II	血液型	千葉 正悦	法医学	1. Rh式血液型とその亜型の特徴 2. 交差適合試験の目的と原理	・輸血におけるRh式血液型の問題点を調べる。
7.9	"	I	医事法規Ⅰ（死体解剖保存法・刑法・刑事訴訟法）	向井 敏二	法医学	1. 死体解剖保存法第7条・同8条・同11条 2. 死因究明制度における監察医制度の必要性と問題点 3. 刑事訴訟法第134条（守秘義務）、虚偽記載罪（刑法第161条）等の主旨と適切な対応法	・講義資料を通読する。
"	"	II	医事法規Ⅱ（医師法全般）	"	"	1. 医師に求められる責任 2. 医師免許取得の条件、医師免許取消等の処分 3. 医師法第19条（応召義務）、同20条（無診察治療等の禁止）、医師法第21条（異状届出義務）の主旨と適切な対応法	"
7.16	"	I	死因論Ⅰ	"	"	1. 死因統計の原則、死因の定義 2. 内因死・外因死の概念 3. 原死因・直接死因および死因の種類	"
"	"	II	死因論Ⅱ	"	"	1. 内因・外因の複合例における死因の判断 2. 死因論の競合理論と各々の具体例	"
7.23	"	I	医療関連死Ⅰ	"	"	1. わが国における医療関連死取り扱いの変遷 2. 医療に関する医師の責任と処分（刑事・民事・行政処分） 3. 診療行為中の「予期せぬ死亡」について	・医療ミスをおかした医師はどのような罰が科されるかを調べる。
"	"	II	医療関連死Ⅱ	"	"	1. 医師法第21条に基づく医療関連死の警察への届出義務 2. 医療法に基づく医療事故調査・支援センターへの届出義務 3. 医療事故調査制度の仕組み、医療機関の義務	・「外表異状説」を調べ、同説に対する意見をまとめる。